

第663回番組審議会報告

2021年11月9日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 鯨岡秀紀委員
太平信恵委員 津村記久子委員 増山実委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田専務、高山常務、磯澤取締役、藪内取締役、酒井取締役、
奥田報道情報局長、高山プロデューサー、海老ディレクター、
津田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組「A男とB子のウラ事情」

(2021年8月29日(日)15:00~17:00 放送)について意見交換した。

【番組概要】

『A男とB子のウラ事情』

“お笑い第7世代”と呼ばれる「EXIT」が令和の若者を取り巻く社会問題を考える番組。若手記者が①「ママ活と飼われる男たち」②「ミナミのキャバ田」③「令和ニッポン貧困女子」コロナ不況や女性の貧困といったシリアスなテーマをEXITの二人がどんな出口(EXIT)を示してくれるのか。新しいタイプの報道番組です。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 報道番組とバラエティ番組の垣根を外して融合させたらどんな番組ができるかという試みはすごく面白いと思った。
- * チャレンジャーな番組だったと思う。特にEXITがすごく味があってよくて、逆にもっといろいろ聞きたい。そういう意味では、Vのところはもうちょっと短くてもいいのかなと思った。
- * EXITは明るくていい。彼らをキャスティングしたのが、この番組の最大のストロングポイントだったと思う。
- * テレビで見る報道記者とは違う素顔が見られる点は新鮮だが、視聴者にテレ

ビ局の報道記者ってこの程度かと思われるのではないかと危惧した。

*炎上した五反田の店が、性産業がセーフティネットというのは本当に詭弁だと思う。お店の人は何も負担してないのにセーフティネットと言っている詭弁に対してもうちょっと突っ込んでほしかったと思う。

*性産業をセーフティネットか悪魔かというふうに分けているが、風俗を乱していくという公序良俗違反なのか、それとも営業の自由なのかという分け方もある。テーマの立て方もちょっとあちら側の人に引きずられている感じがした。

*100人の声というのでアンケート調査をしているが、せっかくアンケートをしたのだから、もうちょっとどこかに生かせなかったのかなと思った。

*ママ活をしている男の人たちとキャバクラ勤めとかデリヘルをしている女の人たちの悲壮感が全く違ったことにびっくりした。これがそのまま男女の格差だと思う。

*今の日本社会は同じ学歴同士で結婚する学歴婚社会となっていて、親世代が非常に無理をして大学に送り込んでいる実態があると感じた。

*「伝える」ということを出口にしてしまうと、制作者側や番組の現状を自己肯定していると感じる。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

*人脈のたどり方や取材手法など、本来テレビの前に出てこないような人たちを取材するべく取り組んだが、実際なかなかたどり着けなかったところもあり、今後も鋭意努力したい。

*五反田の店についてはもう少し突っ込めばよかったかもしれないと思いつつ、突っ込んで紹介し過ぎると、本当に善意の人間のようにも見えてしまうというところが難しいと感じた。

*「伝える」という出口が、確かに番組の自己肯定のようにも映るので、もう少し詳しく説明すればよかったという反省がある。

以 上